

「共謀罪」衆議院本会議で可決！参議院へ！！

あなたも、政府に監視されますよ！！

5月23日、衆議院本会議で「テロ等準備罪」＝「共謀罪」の採決が行われ、自民・公明両党と日本維新の会などの賛成多数で可決され、参議院に送られました。「テロ等準備罪」＝「共謀罪」は過去に内容を変えたり名前を変えたりして成立を目指してきましたが、問題点が多くいずれも廃案になってきました。今回、オリンピック開催を理由に強行可決して成立をめざしているのが安倍政権です。

日弁連の中本和洋会長は、「法案は、監視社会を招き、市民の人権や自由を広く侵害するおそれが強く、法務委員会での審議で計画よりも前の段階から尾行や監視が可能となること」が明らかになった。マンション建設反対の座り込みなども処罰対象となる可能性があり、テロ組織や暴力団だけでなく、一般市民も捜査の対象となり得るという懸念は払拭できない」として廃案を求める声明を出しました。「テロ等準備罪」に対しては「条文が曖昧で一般団体が対象になる恐れがある」「捜査機関が犯罪計画を探そうとするため過度の監視社会に繋がる」等の根強い不安があります。このままでは、時の政府による監視社会が益々広がっていきます。「テロ等準備罪」法案の廃案に向けてみんなで声をあげていきましょう。



5・21大阪大集会で共謀罪廃案を！

5月21日、大阪・靱公園で「5・21大阪大集会で共謀罪廃案を！監視社会は絶対あかん！」集会（大阪弁護士会主催）が開催され、「共謀罪」の廃案をめざして4,000人の市民が結集しました。

JR東海労も、JR西労、JR貨物労組、OBの仲間や9条連の仲間と共に参加しました。集会後、パレードを行ってきました。

